

# Carved top Series

その豊かでメロウなトーンによって時代を超えて多くのギター・プレイヤーを魅了し続けてきたジャズ・ギターの王道L-5。そして今回カスタム・ディヴィジョンが満を持して発表した新世紀のフル・アコースティック・ギターがL-5 SIGNATUREである。L-5の伝統全てを引き継ぎ、ボディの厚みをエッジ部分で68mm、左右の幅を390mmと設定して全体のバランスをオリジナルの3/4サイズにコンパクト化したモデルである。無理なくリラックスしたポジションでボディをホールドすることによって、今まで以上に抜群のプレイアビリティを得ながらもL-5の持つ究極のトーンを体感できるモデルだ。

## L-5 SIGNATURE

BODY: Spruce top, Maple back & side  
NECK: Mahogany  
FINGER BOARD: Ebony  
PICKUP: 57Classic



## Super 400 CES

BODY: Spruce top, Maple back  
NECK: Maple  
FINGER BOARD: Ebony  
PICKUPS: 57 Classic



## L-5 CES

BODY: Spruce top, Maple back  
NECK: Maple  
FINGER BOARD: Ebony  
PICKUPS: 57 Classic



## L-4 CES

BODY: Spruce top, Maple back  
NECK: Mahogany  
FINGER BOARD: Ebony  
PICKUPS: 57 Classic

## カスタム・ショップ (GIBSON GUITAR CUSTOM ART HISTORIC DIVISION)

1990年初期、GIBSON ELECTRIC DIVISIONの施設内にカスタム・ギターを専門に対応するためのプロジェクト・チームが設立された。現在のカスタム・ディヴィジョンの前身である。当初、このチームは主にディーラーからのカスタム・オーダーを担当していたが、1993年にヒストリック・コレクション1959レス・ポール・リイシューというその後のフラッグ・シップ・モデルになるべく究極のモデルを完成させた。これは同年1月のアナハイム・NAMMショーで発表されて、その完成度の高さで大きな反響をよんだ。これは今でも基本仕様とされているロング・テノン(ディーブ・ジョイント)の採用やボディ・トップのカーヴィングに並行したコントロール・キャビティなど細部にわたってオリジナル同様に再現されていたためである。1993年後期、カスタム・ショップはついに正式にエレクトリックから独立し、別の施設内に新たなディヴィジョンとして産声をあげた。その後もヒストリック・コレクションは続々とギブソンの歴史的重要なモデルを高い完成度で発表し続けている。また1999年にはついに'59レス・ポール・リイシューのボディ、ネック、トップ・カブ、フィニッシュ、ジョイントの位置、バインディングの太さ、ブリッジ、テールピース、ノブの位置関係などを大幅にリファインして更に高いレベルへと進化させるなど、その伝統を重んじる精神が揺るぎの無いということを実証している。